



## PA（取りまとめ団体アドバイザー）研修 ～JET プログラム参加者への研修を行っています～

（一財）自治体国際化協会 JET プログラム事業部研修・カウンセリング課

### PA とは？

JET プログラム事業部では、PA（取りまとめ団体アドバイザー）を対象に、職務上必要な知識と技術を習得するための研修を行っています。

PA は、全国の都道府県・政令指定都市の JET プログラム担当職員（通称：担当者 PA）や JET プログラム参加者（通称：JETPA）が務め、JET プログラム参加者や市町村などの任用団体からの相談対応、情報提供、オリエンテーションや研修の企画などを行う役割を担っています。

PA の業務は幅広いですが、PA 研修では、JET プログラムのサポート体制を強化することを目的として、業務に役立つトピックに関する講義や、ワークショップを提供しています。

本研修は、毎年2回、全国のPA（担当者 PA と JETPA）を対象に開催しており、第1回は、2023年5月25日と26日の2日間にわたって、東京都にて開催しました。全国の自治体から約130人が参加し、ネットワーキング、グループディスカッション（実践的な課題解決）、事例発表などを行いました。

### 役職に合わせた研修内容

PA には、担当者 PA と JETPA の2つの役職があることから、本研修ではそれぞれに合わせた研修を行いました。

JETPA に向けては、まず新規 PA を対象に、JET プログラム参加者に寄り添うピア・アドバイザーとして JETPA が行うサポートの範囲を説明し、特に参加者からの問い合わせが多いテーマ（保険、災害時の対応、任用団体との関係など）に対する知識を深める講義を行いました。

一方、すでに経験のある JETPA に向けては、ネットワーキングのためのワークショップを行ったのち、大阪経済大学経営学部の田中健吾教授による「日本の職場ハラスメント」に関する講義を開催しました。この講義は、JETPA が、それぞれの職場で起こりうるハラスメントについて詳しく学び、他の参加者の相談に対して実際にサポートを行う際に必要なノウハウを得る機会となったのではと思います。最後に、千葉県の実任 PA によるアウトリーチ（情報伝達）手段に関する事例発表を行い、1日目は終了しました。



新規 PA に向けて行った PA 業務の基礎知識に関する講義



職場におけるハラスメントの講義



千葉県の現役 PA によるアウトリーチ（情報伝達）手段に関する事例発表

2日目は全 JETPA に対し、三重県の PA 4 人によるトラブル対応についての事例発表からスタートしました。全員が参加できるクイズコーナーもあり、とても盛り上がりました。



三重県の PA 4 人による事例発表。参加者全員でクイズに答えます

その後、自らのストレス管理とアクティブ・リスニング（積極的傾聴）方法についてのメンタルヘルスケアの分科会、岐阜県の PA によるコンプライアンスの伝え方についての事例発表を行いました。

2日目の最後には担当者 PA と JETPA が再び合流し、「実践的問題解決」においてグループで協力しながら課題に取り組みました。

内容が盛りだくさんの2日間でしたが、参加者にとって実りのある研修となっていれば幸いです。

## 担当者 PA に向けて

担当者 PA に向けては、メンタルヘルスおよび多文化

共生についての講義や、ネットワーキングセッションを行いました。多文化共生の講義では、さまざまなアクティビティーやゲームを通して、日本の文化がわからない新規 JET プログラム参加者の視点について学び、参加者のサポート方法について理解を深めていただきました。

研修中のネットワーキングと情報交換の分科会により、他の担当者 PA や JETPA と情報を共有できる貴重な機会となったのではと思います。



多文化共生の講義では、担当者 PA がグループで行うアクティビティーを通して、日本に来たばかりの JET プログラム参加者の視点を学びました

## 研修を通じて

今回は新しく、研修前後にクリア職員との予約制相談時間も設定しました。申し込みのあった自治体が抱える問題について PA と一緒に考え、アイデアやアドバイスを可能な範囲で提供しました。各都道府県と政令指定都市において大事なサポートの役割を果たす PA をさらにサポートしていけるよう、今後も新しい取り組みを検討していきます。

参加者からは、「PA になったばかりだが、これから参加者に向けてサポートを行うために必要なノウハウを得られて、今後の業務に対して自信を持てるようになってよかった」「異なる文化に足を踏み入れる時に起こりうることについてしっかり学ぶことができた」といった声をいただきました。

今後も、PA の方々が自信を持って職務を効果的に遂行できるように情報提供などを行い、JET サポート体制の強化および JET プログラムの効果的運用に努めていきます。